

2年生の話から、上の学年の人たちもマナーや思いやりについて考えを深めてくれました。自分たちだけでなく周りの人にも目を向けて、思いやりの心を行動に表してくれたら嬉しいです。

<朝会で話した主な内容> テーマ：「思いやりの心で」

2年生と多摩動物公園に出かけた時、とてもうれしいことがありました。1つは、電車やモノレールの中で声の大きさに気を付けていたこと、先生方がスケッチブックに書いた指示をよく見て、静かに素早く行動していました。

2つには、乗ってくるお客さんのために、席を空けて立っている人が多かったこと。2年生のみんなは、通路をふさがないように端に寄って立っていたので、途中の駅で乗ってきた方も、スムーズに座ることができました。

共通しているのは、周りの人への思いやりと想像力です。大勢の人がいる場所では、静かに過ごしたい人、疲れて休みたい人など様々ですから、おしゃべりに夢中になると迷惑をかけてしまいます。子供であっても、誰もが気持ちよく過ごせるようにマナーに気を付けるのは大切なことです。また、高齢の方や妊婦さんなど、自分たちよりも座席を必要としている人が座れるように心がけたいものです。自分と同じように、他の人も大切にしようとした姿が学校中に広がってほしいと思いました。

さて、皆さんはこの字を知っていますか。辛いという意味の漢字です。この字に横棒を一本足すと幸せという意味の漢字になります。みなさんの何気ない一言が相手を元気づけたり、時には傷つけたりします。もしあなたの周りに、辛い思いをしている誰かがいたら、声をかけたり、一緒に遊んだりして、その人が笑顔になれるように、幸せの横棒を足してあげてください。

- 1 社会科見学などで電車に乗った時、人が少なかったので椅子に座って友達としゃべっていたことを思い出しました。子供でも少しの気づかいをするだけで、一人の人が幸せになるし、一人一人の幸せを積み重ねることで大きな幸せができると思いました。
- 2 モノレールで周りの人のことを考えて席を空けたり、2年生は端の方に立って、乗り降りをしやすいようにしたのがすごいと思います。これから電車とかで、周りのことを考えて行動したいと思います。
- 3 想像力や思いやり、やさしさについて学びました。2年生が人に席をゆずったことは、とってもよいことだと思います。だって、その行動は思いやりや想像力が働いている証拠だからです。例えば前のピンポンダッシュだって、された側の気持ちが分かっていなくて、やったことです。もし、その時その子が想像力を働かせていたら、そんなことは起こらなかったはずです。なのでぼくは、2年生のことをすごいなあと感じました。
- 4 2年生が礼儀正しかったので、6年生は九小の顔として礼儀正しくしないといけないので、しっかりとマナーを守りたい。
- 5 なんか2年生がたくましく感じました。5年生はあまりしなさそうな気がして…。幸という字と辛という字は知っていたけど、思わず「そうなんだ！」と思ってしまいました。
- 6 電車の中でのことが一番心に残りました。ゆずり合っているところが、すごく2年生はやさしいなと思いました。これからは、ゆずり合いを大事にしようと思います。
- 7 2年生の思いやりはすごいと思いました。私も思いやりをもって人に接したいと思いました。「辛」が一本の横棒で「幸」になるのは気付かなかったです。自分も一本の横棒が加えられる人になりたいです。
- 8 2年が静かにしたり、席をゆずっていることがすごいと思った。人にやさしくするようにする。
- 9 私は、人にゆずったことやゆずられたことがありません。ですが、今日人にゆずったら、その人は幸せなんだということが分かりました。逆に人にゆずられたら幸せになるんだということが分かりました。これからは、人に思いやりのある言葉や行動をとりたいと思います。
- 10 自分ができることを一つでもやれば、誰かが幸せになれるかもしれない。一つの声かけだけで幸せになれる人がいる。自分ができることは、やれるように努力したい。
- 11 2年生が電車の中で騒がず、客が来たら席をゆずったりしていてすごいと思いました。人に席をゆずることはよいことだと改めて思いました。これからは、電車の中のマナーを守ろうと思います。
- 12 一つ一つの思いやりが小さなうれしさにつながるのが、すてきだと思った。